

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 きだ整形外科クリニック	代表者	木田泰弘	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域の中で自宅での自分らしい生活が送れるよう、心身の状況や希望、おかれている環境を踏まえ「通い」「泊り」「訪問」のサービスを組み合わせながら支援をしています。在宅での生活を続けるために利用者のみならず、家族の要望や「小さな困りごと」に着目しながら支援させていただいています。また手を出し過ぎることがないように利用者一人一人のできること・持っている力を大切に、日々の生活の中で利用者自身が役割を持って生活できるような環境づくりを心がけています。
事業所名	ケアサービス ふたくち屋	管理者	福岡紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	自己評価を行うことで、自分たちのケアの振り返りを継続し、今まで通り、ケアの質の向上に努めていく。	事業所の全職員が自己評価を行い、振り返りを実施した。	特になし	今後も、年に1回は自己評価を行い、自分たちのケアの振り返りを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	日頃からの職員の明るい挨拶や親しみのある立ち振る舞いを継続する。 年間行事の中で、地域の方にも参加してもらえるようなイベントは町内放送等での案内を行う。 事業所の看板がないため、事業所を認識しやすいよう看板の作成を法人に依頼する。	通りすがりや来所時には挨拶ができていた。 町内へのイベント案内はできなかった。 玄関に看板の設置を行った。	何か催しがある時の宣伝（町内放送等）はないのか？ 来訪したときに、だんまりとソファに座っている人がいた。こういうところは、もっと何かするように働きかけるものではないのか？	日頃からの職員の明るい挨拶や親しみのある立ち振る舞いを継続する。 毎月の行事や慰問時のポスターを屋外に掲示できる工夫をする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々に事業所を知っていただく、職員であることを認識していただくため、通りすがりや出会った方々に挨拶をすることを継続していく。	通りすがりや来所時には挨拶ができていた。	年度末にみせてもらったような活動のDVDを、地域のいきいきサロンなどで流して、地域の人にしてもらったかどうか？	年度末に活動のDVDを作成し、町カフェの時間を活用し、地域の方にみていただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	事業所のある町内で開催されたイベントの参加報告だけでなく、他の町内等で行われた行事で利用者が参加したものも、運営推進会議の中で報告していく。	運営推進会議の中で、町内のイベントに参加したこと以外にも、他の町内や市内のイベントに参加したことを報告した。	事業所の隣の人以外が、事業所を尋ねてくることはあるのか？	餅つきや遊イングだけではなく、町内で開催している「町カフェ」に参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	職員一人ずつでも会議に参加し、地域の方との関わりを持っていく。 現場職員が運営推進会議に参加した時には、自分たちが取り組んだ催しものについて、直接、地域の方に伝えていく。	現場職員も運営推進会議に参加し、自分たちが取り組んだ催しものや企画などを報告している。	どこまで個人情報を話してよいのか？ ここの事業所を利用している人のことであれば、話しやすい この地域に住んでいる人の相談とまではいなくても、（個人名を出さなくても）情報交換の場所になればよいのではないのか？ この先、どのように対応したらよいか相談できる場所になればよいのではないのか？	引き続き、現場職員が一人ずつでも会議に参加し、自分たちの取組みを地域の方に直接報告していく。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の避難訓練について、あらかじめ予定日時等を地域の方に連絡し、できるだけ地域の方にも参加していただけるような工夫をする。	7/20に実施した水害を想定した避難訓練については、事前に日程をお知らせし、町会長や民生委員の方の協力を得られた。	夜間を想定した訓練では余計大変だろう 水害などの訓練では、地域の一人暮らしの人も一緒に避難するというのであれば頼りになる 近所にも火事や救急に気付きにくい 町内には現役の消防隊員・元消防隊員がいる	水害想定避難訓練だけではなく、その他の避難訓練についても事前に地域の方にお知らせする。